

花と緑の銀行だより

206号 2018.1



頭取・グリーンキーパーステップアップ研修 実習花壇 H29.9.20

目次

- | | |
|---|---|
| ・花と緑の提言 新年のごあいさつ（富山支店） | 2 |
| ・活動事例 砺波市の緑花推進の取組について（砺波支店） | 3 |
| ・緑づくりコーナー 庭木に適した富山ゆかりのサクラ（樹木医 西村正史） | 4 |
| ・報告コーナー 「全国花のまちづくりコンクール」で大賞 | 5 |
| ・ステップアップ研修報告（立山支店 千垣地方銀行 亀田友行） | 6 |
| ・この人あり 花の環境作り（上市支店 南加積地方銀行 浅野外枝） | 7 |
| ・報告・お知らせコーナー 1月～3月の主なイベントなど | 7 |



新年のごあいさつ

花と緑の銀行 富山支店長
富山市長 森 雅 志

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、輝かしい新春をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。

日頃、花と緑の推進に多大なるご支援とご協力をいただいておりますことに、心より感謝を申し上げます。

さて、富山市では、人口減少と少子・超高齢社会の進行や過度な自動車依存による公共交通の衰退、市街地の低密度化などの課題に対応し、将来にわたって持続可能な都市を構築していくため、これまでの10余年、「公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり」を政策の基本に据え、様々な施策を推進してきました。

そのなかで、本市の特徴である立山連峰から富山湾にかけて広がる多彩な緑と水の流れが形成する豊かな自然、そして、その恵みを次世代へと引き継いでいくため、「富山市緑の基本計画」を作成し、地域の特色を生かした緑化活動を推進しております。

平成19年度より、富山の玄関口であり、顔となる市内中心部で「フラワーハンギングバスケット事業」を実施しており、富山のまちなかの魅力の一つとして県内外の方々から高い評価をいただいております。とりわけ、昨年5月には、県内で開催された全国植樹祭に合わせ、城址大通りに特別なハンギングバスケットを設置し、花と緑を通して、市の魅力をPRするとともに、県内外からお越しの方々への「おもてなし」の気持ちを表しました。

また、富山を代表する桜の名所「松川」では美しい桜並木を将来へと残していくため、土壌改良や枯枝・腐朽部の除去等の保全事業を実施しているところ です。

一方、「おわら風の盆」が開催される八尾地域では、越中八尾駅周辺に「おもてなしフラワー」を設置し、多くの来街者を花でおもてなししているほか、花壇コンクール等への参加に積極的な大沢野地域では、地域住民の緑化に関する知識、技術の習得の場としてサルビア園の花壇管理を行うなど、それぞれの地域の特色に合わせた緑のまちづくりを行っています。

加えて、市民の皆様と協働で行っている緑化活動としては、市民から募ったサポーターの皆さんに、ハンギングバスケットの植込みから、設置、その後

の花がら摘みや灌水等の維持管理作業まで取り組んでいただく「市民とひろげるフラワーハンギングバスケット事業」をはじめ、市内の公園にて、頭取・グリーンキーパーの皆さんと協働で栽培したヒマワリをJR富山駅へ展示し、駅利用者の方々に楽しんでいただく「ヒマワリプロジェクト」、さらには、身近な公園で地域の方々が野菜を育て、収穫を分かち合うことで社会的絆を醸成する「街区公園コミュニティガーデン事業」や、NPOや中学校、養護施設などと協力した植樹樹への「黄花コスモスの種まき」など、市民の皆さんが主体となって多くの活動に取り組んでいただいております。

このような市民主体の緑化活動を推進することは、単に花や緑を増やすことにとどまらず、高齢者の外出機会の創出や、住民の地域づくりへの参画、世代間交流の活発化など、市民の皆さんが地域に対して愛着や誇りを抱くシビックプライドの醸成に大きな影響を与えるとともに、本市が目指す誰からも「住みたい」、「住み続けたい」、「帰りたい」まちとして選ばれる持続可能な都市につながるものと大いに期待しております。

今後も市民の皆さんと一体となって、花と緑にあふれた魅力あるまちづくりを推進してまいりますので、地域の緑化推進のリーダーである頭取・グリーンキーパーの方々や市民の皆さんには、変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに公益財団法人花と緑の銀行の益々のご発展と皆様方のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げまして、新年のあいさつといたします。



写真1 ハンギングバスケットによるおもてなし ～城址大通り

砺波市の緑花推進の取組について

花と緑の銀行砺波支店 事務局長

チューリップ四季彩館 館長 **構 富士雄**

砺波市は、富山県西部の砺波平野の中央に位置し、住居が点在する日本最大規模の「散居」景観が広がっています。また、平成17年制定の砺波市民憲章において「花や緑を愛し 美しいまちをつくりまします」と掲げているように、市内の至るところに花壇があり、市民の手によって、美しく整備されています。

現在、花と緑の銀行砺波支店には21の地方銀行があり、各頭取と約300名のグリーンキーパーで緑花活動を推進しています。この活動拠点であるチューリップ四季彩館は、平成8年にオープンして以来、昨年8月に来館者が100万人を達成しました。

このほか、砺波チューリップ公園を中心に開催される「となみチューリップフェア」は、砺波市を代表する観光イベントであり、本年度で66回を数え、15日間の会期に約32万3千人の来場者で賑わいました。チューリップフェアでは、花と緑の銀行も参画し、市民が作った樽プランターを会場に飾り、花さじきとして、来場された方々をもてなしています。

そして、フェア終了後には、樽プランターを市内21の地方銀行に配布し、地域の緑花推進に貢献しているほか、地域が管理する花壇に花苗や球根の配布、補助金の交付など、地域緑花を推進しています。



写真2 チューリップフェア会場に並べた樽プランター

さらに、毎年7月に砺波市花と緑のコンクールを開催し、学校や地域の花壇など多種多彩な花壇が、数多く出展されています。これらは、いずれも見事な出来栄であり、毎年10月に開催する「花と緑の講演会」に併せて表彰しています。このように、砺波市は緑花への取組が盛んであり、市を代表して出展する花壇の多くは、富山県花のまちづくりコンクールでも入賞し、表彰されています。

砺波支店では、年に2回の頭取会議を開催して、地域における課題共有を図っており、今後とも地域と一体になって活動を進めてまいりますので、より一層のご理解とご協力をお願いします。



写真1 チューリップフェア会場での準備作業



写真3 「砺波市花と緑のコンクール」審査風景

庭木に適した富山ゆかりのサクラ

日本樹木医会富山県支部

樹木医 西村 正史

庭木に適したサクラを本誌181号で紹介しました。本県ゆかりのサクラでも庭木に適した品種が見つけれられていますので、紹介します。

なお、栽培時の注意点は本誌181号を参照してください。

1 コシノフユザクラ

晩秋と春の2回、開花のピークがある二季咲きのサクラで、県内ではかなり古い時代から栽培されていたようです(写真1)。2006～2007(H18～19)年にとやまさくら守の会と富山県中央植物園との共同調査で新品種であることがわかりました。系統的にはマメザクラとヤマザクラが関係して誕生しました。県中東部の20箇所栽培が確認されています。

花は一重咲きで、花弁が5枚の花と4枚の花が混ざりあうという特徴があります。また、花弁が散りにくいため、1本の枝に満開状態の白い花と咲き進んで色づいた古いピンク色の花が混ざる特徴もあります(写真2)。富山県中央植物園で販売されています。



写真1 コシノフユザクラ



写真2 コシノフユザクラの花

2 コシノフクカサネ

このサクラもとやまさくら守の会と富山県中央植物園との共同調査で2010(H22)年に新品種であることがわかりました(写真3)。入善町上野の浄蓮寺、入善町舟見の念興寺、民家2箇所確認されています。系統的にはマメザクラとチョウジザクラが関係して誕生しました。富山さくらの名所70選の1つ、「浄蓮寺・念興寺の桜」として指定されています。

この品種も二季咲き性で晩秋と春に開花します。特に晩秋の開花が見事です。花は一重から半八重咲きが混在し、花付きがよくて散りにくく、花の色は、咲き始めは白色が強く、満開後は紅色となります(写真4)。枝はやや垂れる特徴があります。

昔、親孝行な息子が桜を見たいと言った病気の父親のために、あちこちを探し、やっと探しあてた桜であることから「孝行桜」と言い伝えられています。

(写真: 富山県中央植物園にてH28.4.6撮影)



写真3 コシノフクカサネ



写真4 コシノフクカサネの花

「全国花のまちづくりコンクール」で大賞

本年の第27回全国花のまちづくりコンクールにおいて、朝日町の山崎久夫さんが「花のまちづくり大賞（農林水産大臣賞）」を受賞されました。

1 花のまちづくりコンクールの概要

コンクールは全国花のまちづくりコンクール推進協議会が主催して、平成2年の「国際花と緑の博覧会」の開催以降、「花のまちづくり運動」を全国的に普及啓発するために毎年、実施されています。

本年の応募総数は1,851件で、大賞には4件、優秀賞には8件、奨励賞には12件が選拔され、10月26日に東京で表彰式が執り行われました。

同コンクールでは山崎さんの大賞の他、富山県から下記の皆さんが入賞・入選されており、富山県での花のまちづくりの活動が、全国的にも高く評価されました。

花のまちづくり奨励賞：市 山 由 美 子（砺波市）

花のまちづくり入選：四 方 小 学 校（富山市）

小杉西部保育園（射水市）

寺 崎 啓 乃（富山市）

2 山崎久夫さんの活動概要

山崎さんは、朝日町で水稻とチューリップ球根栽培に取り組まれている専業農家です。

平成15年ごろより地元、朝日町舟川新の舟川べりで、春の四重奏～チューリップ、菜の花、さくら、白銀の朝日岳～の共演に尽力されました。町や地域の皆さんとともに、現在では3万人を超える見学者が来訪する地を創出されました。

また、春の四重奏だけでなく、ヒガンバナの植栽や田んぼアートなどに地域の有志の皆さんと組織的に取組まれており、「町内外の皆さんに喜んでほしい、地域が元気になってほしい」との願いの実現に今もお邁進しておられます。

以下、審査講評を紹介します。

—山崎さんの花のまちづくりは個人の活動レベルを超えています。行政の事業としても容易にできるものではないレベルです。日本人は地域の自然の風景を縮めて日本庭園を造るような能力は高いといわれますが、山崎さんの風景づくり（春の四重奏）はこれとは逆で、残雪の山並みを背景に、花を使って大面積で素晴らしい風景を地域の方たちと一緒に創り出しました。富山県らしい地域性に富んだチューリップ畑の風景に審査員一同が感動しました。—



写真1 現地審査 H29年8月
～ 審査は第1次（応募書類選考）、現地、第2次（最終選考）により実施。



写真2 春の四重奏のにぎわい H29年4月



写真3 新たな取組み ～ 田んぼアート（H29年夏）、
ヒガンバナ植栽（H28年夏）・様相（H29年秋）



ステップアップ研修に参加して

花と緑の銀行 立山支店

千垣地方銀行 頭取 亀田 友行

私の住む立山町千垣地区は、近くにスキー場があり4月の中頃まで日陰には雪が残る山間で、世帯数も70世帯を切る小さな集落です。今年、開催された全国植樹祭に際しては、4基の飾花プランターの管理を4月下旬から5月下旬の約1ヶ月間に渡り担当しましたが、平野部と異なり気温が2～3℃低いいためかサルビアが開花しないままとなりました。

昨年の4月に頭取に委嘱されましたが、花といえば10数年前に職場の同僚からもらった「源平葛」を育てたぐらいしかなく、その花も昨年枯らしてしまうほど花に関する知識に乏しい私ですので、新任研修は元より無理を言って現任研修にも参加をさせていただきました。グリーンキーパーの方々や花好きの妻からアドバイスを受けながら何とかやってきましたが、少しでも花壇作りの基本や草花に関する知識を深め自分自身のレベルアップを図りたいと思いこの研修に応募しました。

研修では、まず「ボランティアとしての心構え」とガーデニングの基本である「土づくり」等について講義と実習があり、さらに「花壇のデザイン」について学びました。最終的には班としてのデザインを決める作業でしたが、最初は全くイメージが湧きませんでした。「研修初日」ということもあり、やや遠慮気味なところもありましたが班の仲間と話し合いながらデザインの基本を「風車（かざぐるま）」とし、各人ごと作成したデザインを持ち寄ることにしました。そして、私の作成した「風車と風の揺らぎ」をイメージした案を基に、講師の館先生からのアドバイスなどの修正を加えて班としてのデザインを決めました。



写真1 デザイン研修5/10、植栽5/24
花壇メンテナンス実習8/2、8/30

作成したデザインに基づき花苗を植栽し、その後2週間ごとに花の生長を見守りながら花がら摘み、切り戻し、草取り、追肥などのメンテナンス作業の実習を

通して、花壇管理の基本を学びました。講師の鳥先生からの「常に、2週間後の生長をイメージしてメンテナンス作業を行い、どう生長したかを確認を」とのアドバイスを意識して実践することにより、花の生長を実感・体感することができました。

実習の間、私達の不在時に実施していただいたスタッフの方々による水遣りや台風対策等のおかげで、私達の花壇の花は比較的順調に生育しましたが、「風車と風の揺らぎ」のイメージ通りにはならず花壇づくりの難しさを痛感しました。



写真2 第6班「風車」花壇 10/4

当初、遠慮気味であった班の仲間とも、また他の班の方々とも、実習を重ねるごとに親しくなり、私にとって本研修で得た知識以上に、「花づくりの仲間」を得たことが宝となりました。ステップアップ研修への参加を検討されている方、延べ16日間・20講座に渡る長期間の研修のため、やや負担を感じるかも知れませんが、とても有意義な研修です。是非、参加をお勧めします。

今後は、本研修で学んだことを地域の活動に活かし、地域の皆さんと楽しい花壇づくりをしていきたいと思っています。最後になりましたが、講師の先生方、スタッフの皆様、そして受講生同期の皆様、大変お世話になり、ありがとうございました。



写真3 花づくりの仲間たち 9/13



花の環境作り

花と緑の銀行 上市支店

南加積地方銀行グリーンキーパー 浅野 外枝

上市支店の主な活動拠点である頭取・グリーンキーパー花壇は、「町民の皆さまの憩いの場となるような花壇」との願いを込め、名称を新たに「ふれあいガーデン」とし花壇への意識を新たにしました。

「ふれあいガーデン」は周囲に自然豊かな田園が広がるスーパー農道沿いの広場の中にあり、晴れた日には劔岳の英姿も望むことができます。スーパー農道の通行者からも華やかに見えるよう立体的な花壇を目指し、色、高さによって花をどのように組み合わせしていくか毎シーズン皆で考え、花壇を計画しています。

植え込む花苗は店で購入するだけでなく、種をポットに植え、頭取・グリーンキーパー各自が責任を持って苗まで育て上げたものを花壇に植え込んでおり、これによって一人ひとり、花壇により愛着を持つことにつながっています。

今年度は広場の空いたスペースに山土砂を新しく運び、上市町の町花でもある竜胆やラベンダーを植込みました。竜胆、ラベンダーは生育が難し

く、苗木のそばに畝を作り、水はけをよくして管理を行っています。ラベンダーは苗が少なかったため、挿し木をして増やしていますが、もっと苗が大きくなった際には町民の皆さんと一緒に香り袋やスティックを作ることも企画しています。

また、上市支店では昨年度から毎月1回、定例会を開催し、今後の課題、反省、夢などを話し合っています。

最近では夏花壇の水やり当番での維持管理や、環境にやさしいボカシ（EM）づくりの研修会、花壇を眺めて休める東屋の企画など、花の環境づくりについて夢を膨らませています。



ふれあいガーデン全景



定例会の様子

報告コーナー

富山県花と緑の祭典2017「第45回花と緑の大会」を開催

- ・第45回花と緑の大会を10月18日(水)に県民会館において開催しました。石井隆一知事(名誉会長)はじめ、頭取・グリーンキーパーの皆さんなど約650名に参加いただきました。
- ・大会では、花と緑の功労者表彰(知事表彰 5名1団体、理事長表彰 19名8団体)、県花と緑のコンクール入賞者表彰(7名24団体・園・所・校)が行われました。
- ・花と緑の講演会では、賀来宏和氏(千葉大学大学院 客員教授)による、①江戸期の日本の園芸文化のすばらしさを当時の富山藩の状況にもふれながら紹介、②人と大自然に恵まれた富山だからこそ、今後も花と緑にあふれ、心の豊かな地として大事に、などの示唆と期待を込めた講演をいただきました。



頭取・グリーンキーパーの新任研修、ステップアップ研修が終了

○新任研修

- ・新任研修(講座4・5)を11月17日(金)に実施し、81名の方に修了証を交付しました。

研修内容 講座4 花の病害虫と見分け方(元農業試験場長 名畑清信)
土づくりのポイント(普及研修部)

講座5 花と緑の地域活動の事例(小矢部市北蟹田地方銀行 頭取 川原俊昭)

○ステップアップ研修

- ・4月中旬から11月下旬にかけ延べ20講座実施したステップアップ研修が終了しました。
- ・毎回、花壇管理実習を主体に、熱心に受講された23名の方に修了証を交付しました。受講された頭取・グリーンキーパーの皆さんの各地域でのご活躍を願うとともに、次年度の本研修への参加をお待ちしています。

平成30年度ステップアップ研修の受講を希望される方は、各支店(市町村担当課)までお問い合わせ下さい。受講者の募集は、3月上旬を予定しています。

🌸🌻🌼 お知らせコーナー（1月～3月の主なイベント）

🌿 「花とみどり・ふれあいフェア」を開催

- 1 日 時 平成30年 3月3日(土) 10:30～17:00 3月4日(日) 10:00～16:00
 2 場 所 フューチャーシティファボーレ（富山市婦中町下轡田165-1）
 3 主な内容

（1）花と緑の展示

- ・とやまの花品評会、今話題・県育成のチューリップ、いろいろなスイセン・ツバキ など
- ・花飾り「ツースhotsスポット」、ステージ花飾り
- ・コンテナガーデンコンテスト、「わたしの寄せ植え」展
- ・全国植樹際木製品メモリアル展示 など

（2）花と緑の体験教室

- ・県産花きを楽しむ体験教室 花束づくり、寄せ植え、生け花
- ・お気軽体験コーナー 木工教室、寄せ植え、花束づくり など

（3）その他コーナー

- ・市町村イベントPR（朝日町、砺波市）
- ・展示販売、花の種無料貸出コーナー、お楽しみ抽選会 など



花束づくり体験教室 H29.2.25

「わたしの寄せ植え」出展募集中

- フェア会場で表彰・展示します（2/28～3/4）。入賞者へ賞状、副賞を授与。
- 申込受付 ～1/26
- 参加費 無料、募集数 30作品程度
- 詳細は銀行HPをご覧ください。問合せ・申し込みは、銀行・緑花推進部まで

🌿 富山県中央植物園

○第5回クリスマスローズ展 2月23～25日（金～日） 9:00～17:00

さまざまなクリスマスローズの品種を展示、栽培講習会（24・25日 13:30～15:00）

○第46回富山県蘭まつり大会 3月2～4日（金～日） 9:00～17:00

富山県蘭協会との共催による北陸最大のランの祭典

栽培講習会（3・4日 10:30～12:00、14:00～15:30）

○第14回雪割草富山県大会 3月9～11日（金～日） 9:00～17:00

富山雪割草の会との共催による雪割草展示、栽培講習会（10・11日 13:30～15:00）

（詳細はHPをご覧ください。お問い合わせは富山県中央植物園へ。参加には入園料が必要です。）

🌿 県民公園 頼成の森

○自作の竹スキーに乗ろう 1月21日（日） 9:30～12:00 定員 20名、参加費300円

○冬の森の中を探索 2月4日（日） 9:30～13:00

- ・雪中を散策し、冬の動植物を観察、きのこ鍋賞味 定員30名、参加費300円

（詳細はHPをご覧ください。申し込み・問い合わせは県民公園 頼成の森へ。）



<花のまちづくり推進モデル花壇「花のある場所」富山市願海寺 寺崎啓乃>

～県道に面し、通行する多くの方々が楽しめるように、多種多様な宿根草とこぼれ種を活用し、季節折々に長く花が楽しめるように工夫。色彩豊かな花壇です。



編集発行 公益財団法人 花と緑の銀行

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
 TEL 076-466-2425
 FAX 076-465-5923
<http://www.bgtym.org/fgbank/>

富山県中央植物園

〒939-2713 富山市婦中町上轡田42
 TEL 076-466-4187
 FAX 076-465-5923
<http://www.bgtym.org/>

花と緑の銀行だより 206号

発行日 平成30年1月
 再生紙を使用しています。

県民公園頼成の森

〒939-1431 砺波市頼成156
 TEL 0763-37-1540
 FAX 0763-37-1450
<http://www.bgtym.org/ranjiyounomori/>